

# 東 経 連 情 報

2023 年 3 月 16 日

## サツマイモの香港輸出 初めて仙台塩釜港を利用

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、当会）では、九州経済連合会が立ち上げを主導した地域商社「九州農水産物直販株式会社（以下、九直）」と連携し、東北・新潟の地域産品の輸出に取り組んでいます。

九直は、やまもとファームみらい野（宮城県山元町 以下、やまもとファーム）のサツマイモを、毎週 20ft コンテナ（1 本分）で香港へ輸出しております。今般、これまでの物流ルートとは異なる、仙台塩釜港を利用した物流ルートを構築し、初めて試験的に仙台塩釜港から輸出します。

やまもとファームのサツマイモの輸出は、2021 年より行われています。今年度（2022 年 11 月～2023 年 3 月）も、毎週、やまもとファームから陸路（トラック）で京浜地区の倉庫へ送られ、そこで温度管理が可能な 20ft リーフアーコンテナ 1 本に詰め替えを行い、東京港から船便で香港へ輸出（所要日数約 8 日間）されておりました。

従来、香港までの輸出は、仙台塩釜港を利用する場合、13 日間以上の日数が必要と言われ、青果物など短期間で輸送が好まれる製品については、その利用が困難な状況にありました。秋に収穫され倉庫に保管されているサツマイモも洗浄して出荷後、短期間で輸送が必要などの理由で、京浜地区までは陸路経由の輸出となっています。

こうした中、地元港湾の活用および品質の維持・向上等を目的に、当会が三陸運輸株式会社と九直、やまもとファームの関係者と検討を重ねた結果、倉庫から直接リーファーコンテナに積み込むことや最適なフィーダー船利用の時間設定などにより、従来の陸路と東京港を利用する場合と変わらぬ約 8 日間の物流ルートが、仙台塩釜港を利用しても構築できることとなりました。今回、この物流ルートを使った試験輸出を行うものです。

スケジュールは、3 月 27 日（月）にやまもとファームでサツマイモをリーファーコンテナに積み込み、仙台塩釜港に向けて出発。仙台塩釜港で輸出通関のあと、フィーダー船（主要港と地方港を結ぶ小型コンテナ船）を利用して、3 月 28 日（火）に横浜港に到着、3 月 31 日（金）に香港に向けて横浜港を出発し、4 月 4 日（火）に香港到着、の約 8 日間です。

わが国からの農林水産物の輸出先で第 2 位（2021 年金額ベース）の実績を持つ香港に対し、仙台塩釜港から地域産品を輸出できることは、品質の維持・向上は勿論のこと、コンテナ当たりの収益向上に取り組み、物流の 2024 年問題への対応や CO2 排出量の削減などに貢献しつつ、今後の東北からの農林水産物の輸出拡大につながるものと期待されます。

仙台塩釜港より試験輸出されることについて、関係者は以下のように話しています。

【やまもとファームみらい野 取締役 馬場 仁 氏】

- サツマイモは「寒さ」と揺れに伴う「衝撃」に弱い作物です。毎年12月から翌年2月は厳寒期での出荷となり、京浜地区でのコンテナ積み込みまでは長距離トラックによる輸送となるため、常に寒さと衝撃のリスクにさらされておりました。今回の試験輸出は、そんなリスクが回避されることから、とても期待しています。東日本大震災で被災した農場（やまもとファーム）の農産物を、同じく被災した仙台塩釜港から海外に輸出するという取り組みは、震災から12年たった復興の形として感慨深いものがあります。

【九州農水産物直販株式会社 代表取締役 小田 保 氏】

- サツマイモは保管適温が12℃前後と言われており、温度変化には非常に繊細な商材です。現行の輸送では、出荷時・倉庫搬入時・バンニング時の3回温度変化が発生しております。特に冬季での温度変化による商材への影響は、従来からの課題で有りながら、輸送日数、コスト面で、東京積みを継続しております。輸送日数が現行と変わらず、出荷から香港到着まで一定温度が確保されることにより到着時のダメージ率軽減に繋がることを期待しております。今回の試験輸送により、サツマイモだけでなくキャベツ等、他の東北産重量青果物での仙台塩釜港利用にも繋がられればと思っております。

【三陸運輸株式会社 国際貨物営業部長 伊藤 成寿 氏】

- やまもとファーム様が産地から船積みまでの間の品質維持に不安を持たれていたことや、九直様が現行の物流ルート（約8日間）と変わらぬリードタイムを求められていたことから、船社など関係者と検討を重ね、今回の試験輸出へと繋がりました。
- 宮城県および東北の農林水産物を地元の仙台塩釜港から輸出することは、品質維持は勿論のこと、環境負荷の軽減や物流の2024年問題の解決にも繋がります。今後も継続して仙台塩釜港から輸出できるよう、地元の港湾運送事業者として全力で取り組みます。

3月27日（月）当日の取材を頂ける場合は、3月23日正午までに以下担当者までご連絡をお願いいたします。

以 上



写真：20ft リーファーコンテナ



写真：前回のやまもとファームのサツマイモ

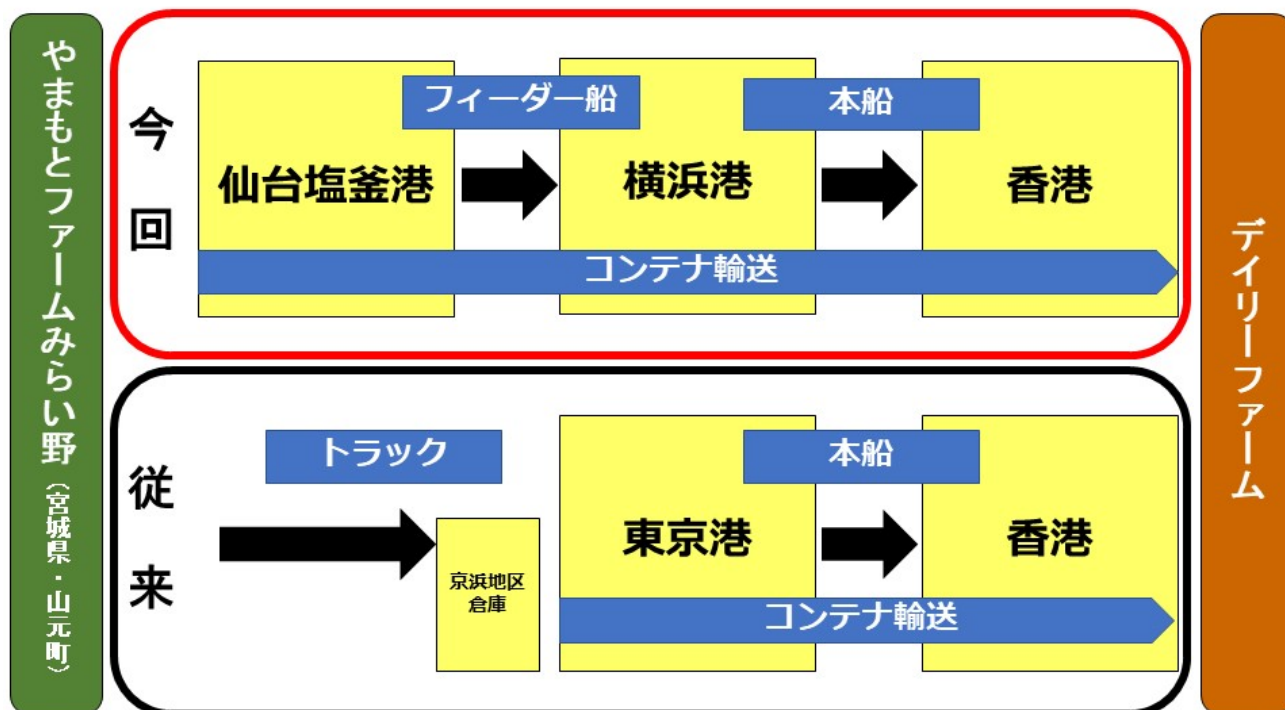
【本件担当】（一社）東北経済連合会 食・観光グループ 櫻庭 電話：022-397-7063

(添付資料)

## 1 案件の概要

### 仙台塩釜港を利用したサツマイモの試験輸出

- ・2021年より、九州農水産物直販(九直)と連携し、やまもとファームみらい野のサツマイモを輸出
- ・従来、フィーダー船利用は運送日数(約13日)の関係からトラックを利用。トラック利用は約8日間
- ・今回、仙台塩釜港発を月曜日とし、リーフコンテナ(荷物に適した温度を一定に保つことが出来る)を利用すること等により、約8日間での輸送を初めて実現



品目	サツマイモ (紅はるか、シルクスイート)
口	5t (500 ケース (10Kg/1 ケース) ・紅はるか 400 ケース (4,000Kg) ・シルクスイート 100 ケース (1,000Kg) * 2022 年 11 月より毎週 5t を輸出
出荷者	株式会社 やまもとファームみらい野
輸出商社	九州農水産物直販 株式会社
輸出先	香港 Dairy Farm グループ
運送調整者	三陸運輸 株式会社
当日スケジュール	9:30AM やまもとファームにてバンニング (リーファコンテナに積み込み) PM 仙台港搬入、通関、内航船出港

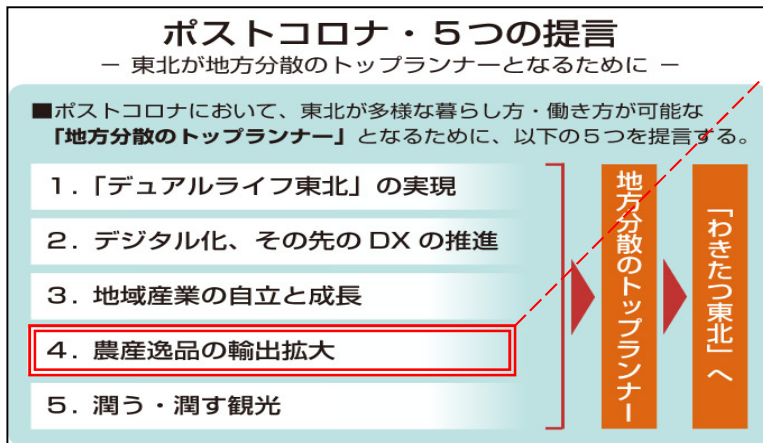
## 2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース(1ケース5~6玉)
	モモ	香港	2022年8月~9月	合計384ケース(1ケース5~6玉)
	鶏卵	香港	2022年3月	608ケース(1ケース15パック)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300ケース(1ケース10kg)
	サツマイモ	香港	2021年4月	300ケース(1ケース10kg)
	サツマイモ	香港	2021年11月~ 2022年3月	約120トン(1ケース10kg 約12,000ケース)
	サツマイモ	香港	2022年11月~ 2023年3月	約100トン(1ケース10kg 約10,000ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース(1ケース40パック)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2022年9月	22ケース(1ケース40パック)
	キャベツ	香港	2021年11月	630ケース(1ケース8玉)
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース(1ケース20袋)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース(1ケース5玉)
	メロン	香港	2021年7月	48ケース(1ケース5玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計100ケース(1ケース4玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計200ケース(1ケース5~6玉)

## 3 東北経済連合会の輸出支援事業の概要

### 【輸出支援事業の位置付け】

- 東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。
- 輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



**4.農産逸品の輸出拡大**

- 農業団体、商社等が連携し、農産逸品（和牛、果物、米、酒等）の発掘・開発を通じた輸出拡大
- 集約化・スマート化による生産性向上 等

【参考】国の農林水産物・食品 輸出目標

現状：2022年 1兆円 4,148億

目標：2025年 2兆円

2030年 5兆円

【参考1】九州農水産物直販 株式会社

会 社 名	九州農水産物直販 株式会社
代 表 者	小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA 宮崎経済連、麻生、JR九州、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

【参考2】株式会社 やまもとファームみらい野

名 称	株式会社 やまもとファームみらい野
代 表 者	島田 孝雄
所 在 地	宮城県亶理郡山元町高瀬北中須賀3
設 立	2015年7月21日
資 本 金	5,000万円（JA 出資型農業法人）
作 付 け 面 積	120ha（平坦な畑地で1経営団体として国内最大級）

【参考3】三陸運輸 株式会社

会 社 名	三陸運輸 株式会社
代 表 者	高城 崇充
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区港4丁目9番6号
設 立	1941年6月
資 本 金	93,184,500円
業 務 内 容	港湾運送事業、通関業、国際複合一貫輸送業、貨物自動車運送業、貨物利用運送事業（鉄道、自動車、内航）、倉庫業、船舶代理店業、航空貨物取扱業、産業廃棄物収集運搬業、第1種貨物利用運送事業（NVOCC）

以 上